

第113期 株主通信

2024年4月1日 ▶ 2025年3月31日

証券コード：4536





代表取締役社長 兼 CEO 河野 毅

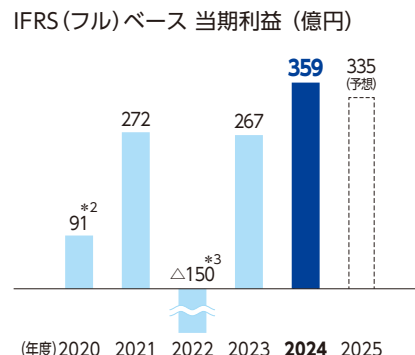
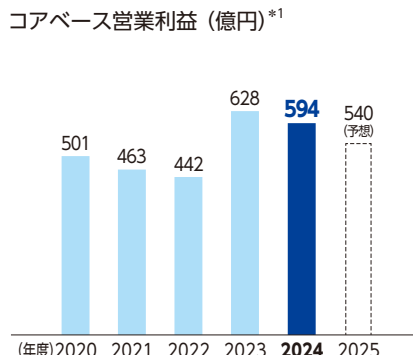
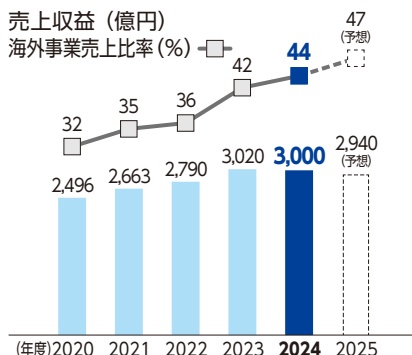
●● 基本理念 ●●

天機に参与する

自然の神秘を解明して人々の健康の増進に貢献するということを意味しています。*

* 中国の古典「中庸」の一節をSantenが独自に解釈したもので、社名「参天」の由来でもあります。

● 連結財務ハイライト



* 1 IFRS（フル）ベースから一部の収益・費用（製品に係る無形資産償却費、その他の収益、その他の費用、企業買収に係る費用、並びに再成長のための生産性向上及び合理化等に係る費用）を控除し算出しています。

* 2 STN2000100（DE-128）に係る減損損失を計上しています。

* 3 Eyeavance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）及びEyeavance Pharmaceuticals LLC（米国）関連資産の減損損失を計上しています。

2期連続で中期経営計画の目標を上回り着地 新中期経営計画の実行により新たな成長フェーズに入る

2024年度の業績および2025年度の見通し

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2024年度は一部製品の供給や、例年に比べ大きな薬価改定及び長期収載品の選定療養化などの影響があったものの、新製品を発売したアイリアー*¹製品群やアレジオン*²製品群の国内での成長やアジア・EMEA*³事業の貢献により、売上収益は3,000億円（対前期0.6%減収）、事業活動自体の収益性を示すコアベースでの営業利益は、594億円（同5.4%減益）となりました。また、IFRS（フル）ベースでの営業利益は469億円（同21.6%増益）、当期利益は359億円（同34.3%増益）となりました。これらの結果、2025年度に達成を目指していた収益性に関する全社数値目標を2期連続で上回るとともに、EPSは104円に向上しました。

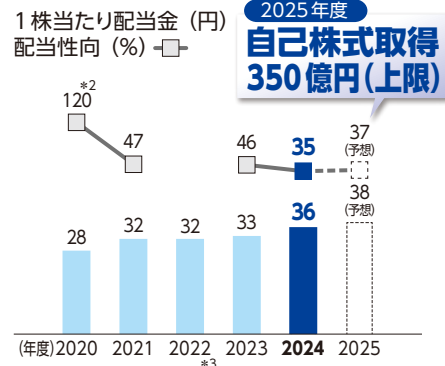
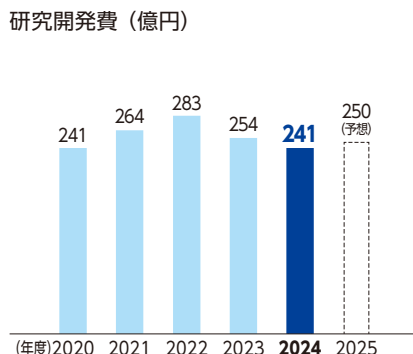
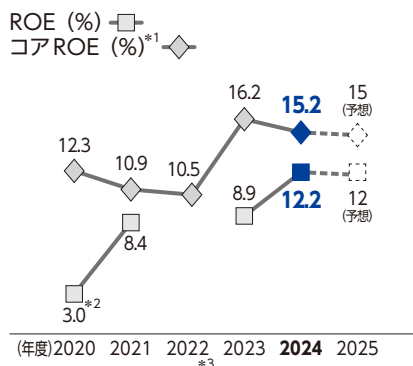
中長期成長をけん引する新製品開発にも進展がありました。2025年4月に日本初となる近視進行抑制点眼剤リジュセアミニ点眼液0.025%を発売しました。また、欧州においても近視進行抑制点眼剤

として開発しているRyJuneaが医薬品委員会の承認勧告を受領しています。近視と同様に大型化を期待している眼瞼下垂治療薬においても、2024年12月に日本で申請するなど順調に進展しています。

2025年度は、引き続き海外事業が成長するものの日本での主力品の後発品上市影響などを織り込み、売上収益2,940億円（対前期2.0%減収）、営業利益440億円（同6.1%減益）、当期利益335億円（同6.6%減益）、EPSは2024年度とほぼ同水準の103円を予想しています。

2025-2029年度中期経営計画を発表

2023年度に発表した2025年度までの中期経営計画は前述の通り前倒しで達成したため、2025年5月に2029年度までの中期経営計画を発表しました。2025年度までの中期経営計画における3つの戦略の柱、「構造改革による収益改善」、「地域事業の成長」、「パイプラインの強化」を完遂し、これから新たな成長フェーズに入ってまいります。2029



2025年度
自己株式取得
350億円(上限)

年度に向けては海外地域におけるリーダーポジションの確立や、近視・眼瞼下垂の市場創造と海外展開により成長するとともに、中長期での成長を支える製品・開発品を拡充してまいります。当社は世界の製薬企業の中でも、眼科領域に特化して取り組んでいる数少ないユニークなグローバル企業であり、今後も開発リスクならびに特許切れの影響を抑えた Santen 独自のビジネスモデルにより、グローバルでの着実な利益成長を実現します。

資本配分・株主還元について

中期経営計画に基づき、収益性強化を通じた、キャッシュの創出力を高めてまいります。その上で、創出したキャッシュを、将来成長のための研究開発や事業開発に投資をしてまいります。

株主還元については中長期的な利益成長に合わせて増配していく累進配当を掲げており、2024年度は年間配当を1株当たり3円増配し36円としました。2025年度については、中間配当19円、期末配当

19円の計38円（2円増配）を予想しています。

また、有望な事業開発投資機会が無い場合は株価の状況を鑑みながら機動的な自己株式取得による利益還元を実施することを基本的な方針としています。2025年5月22日から2025年11月5日までを取得期間とし、19,800,000株（自己株式を除く発行済株式総数に対する割合5.8%）もしくは350億円を上限とする自己株式取得を実施しています。本件により取得した自己株式は消却を予定しています。

これからも、基本理念に基づき、世界中の患者さんや眼科医から必要とされる製品・サービスの提供を通じ、眼科に特化した企業として世界中の眼科医療に貢献し、持続的な成長を目指してまいります。株主の皆さまには、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

- *1 製造販売元であるバイエル薬品（株）とのコ・プロモーション製品
- *2 アレンジオンは提携パートナーであるBoehringer Ingelheim KGの商標
- *3 ヨーロッパ、中東及びアフリカ

日本初となる近視の進行抑制を目的とする点眼剤を発売

近視は、日本では眼鏡やコンタクトレンズ等で矯正されるのが一般的です。一方で、患者さんのQuality of Life(生活の質:QOL)に影響をおよぼすだけでなく^{1,2}、進行し強度近視になると、視力障害や失明に至る可能性のある重度の合併症の発症リスクが増加すると報告されています^{3,4}。また、主に学齢期に進行することから、この時期の進行抑制が重要と考えられています⁵。

Santenは、近視人口の増加という世界的にも日本国内においても大きな社会課題の解決に貢献すべく、近視の進行抑制を目的とした点眼剤の開発に取り組み、日本発となる近視進行抑制点眼剤を2025年4月21日に発売いたしました。

今後も眼科スペシャリティ・カンパニーとして、これまで薬物治療が主流でなかった疾患領域に挑戦することで、将来的な重篤疾患罹患患者数の低減に貢献してまいります。

1. Han X et al, *Curr Eye Res.* 2023;48 (12):1189-1194.
2. Sankaridurg P et al, *Invest Ophthalmol Vis Sci.* 2021;62 (5):4.
3. Morgan IG et al, *Lancet.* 2012;379 (9827):1739-48.
4. Haarman A et al, *Invest Ophthalmol Vis Sci.* 2020;61 (4):49.
5. Sci Rep. 2022 Feb 21;12 (1):2879.



リジュセア®ミニ点眼液0.025%

研究開発状況(臨床段階)

緑内障領域 角結膜疾患領域 屈折異常領域 その他の領域

2025年4月時点

開発コード	一般名・化合物名	効能・効果	地域	臨床試験*1			申請	承認	発売
				フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3			
STN1011101 / DE-111A	タフルプロスト/チモロールマレイン酸塩	緑内障・高眼圧症	中国						2025年3月
STN1011702	オミデネパグ イソプロピル	緑内障・高眼圧症	中国						
STN1012600 / DE-126	セバタプロスト	緑内障・高眼圧症	米国						
			日本						2024年9月
			欧州		(探索的試験)				
STN1013001 / DE-130A (Catioprost)	ラタノプロスト	緑内障・高眼圧症	欧州						2024年8月
			アジア						2024年11月
STN1013900 / AR-13324	ネタルスジルメシル酸塩	緑内障・高眼圧症	日本						
			欧州						2023年2月
			アジア						2024年11月
STN1014000 / PG-324	ネタルスジルメシル酸塩/ラタノプロスト	緑内障・高眼圧症	欧州						2023年1月
			アジア						2025年3月
STN1014003	ネタルスジルメシル酸塩/ラタノプロスト	緑内障・高眼圧症	日本						
STN1007603 / DE-076C	シクロスポリン	春季カタル	中国						2022年4月
STN1008903 / DE-089C	ジクアホソルナトリウム	ドライアイ	日本						2022年11月
STN1014100	オロダテロール塩酸塩	ドライアイ	日本		フェーズ1/2a				
STN1010904*2	シロリムス	フックス角膜内皮ジストロフィ	米国 フランス インド		フェーズ2a				
STN1010905	シロリムス	マイボーム腺機能不全	日本		フェーズ2a				
STN1011402	エピナスチン塩酸塩	アレルギー性結膜炎	日本						2024年5月
STN1011403	エピナスチン塩酸塩	アレルギー性結膜炎	中国						2025年3月
STN1012700 / DE-127	アトロピン硫酸塩	近視	日本						2025年4月
			中国		フェーズ2/3				
			アジア						
STN1012701 / SYD-101	アトロピン硫酸塩	近視	欧州						2024年3月
STN1013800	オキシメタゾリン塩酸塩	眼瞼下垂	日本						2024年12月
			欧州						
			中国						

*1 臨床試験：フェーズ1～3の3段階で実施されます。フェーズ1では、少数の健康な志願者を対象に安全性を確認します。フェーズ2では、少数の患者さんを対象に適切な投与量や投与方法を検討・確認します。フェーズ3では、多数の患者さんを対象に安全性・有効性を検証します。

*2 開発コードは、フェーズ2試験終了時に当社が独占の実施権を獲得した後に附番予定のコードです。

STN1013400（化合物名：AFDX0250BS）は、フェーズ2a試験のデータ解析の結果、開発を中止しました。

2025-2029年度中期経営計画を策定

Santenの現在地

構造改革をはじめとした変革の基盤づくりは、前中期経営計画で着実に完遂

2023-2024年度 変革の基盤づくり

構造改革による収益改善

- ・米州コマーシャル事業の撤退及び大型投資案件などの見直し
- ・コスト最適化と組織最適化による全社の生産性向上

地域事業の成長

- ・Santen Commercial Excellenceのグローバル展開による海外事業の組織力強化
- ・海外事業の売上成長と生産性(1人当たりの売上高)の向上

パイプラインの強化

- ・地域事業の成長を支えるLCM¹の実行 例) アレジオン²眼瞼クリームの開発成功
- ・将来成長を支えるパイプラインの開発 例) 近視進行抑制治療薬の承認取得
- ・新規パイプラインの獲得 例) 翼状片治療薬の獲得

1. ライフサイクルマネジメント 2. 提携パートナーであるBoehringer Ingelheim KGの商標

眼科でニーズのある製品を幅広く取り扱い、
多くの患者さんに届けられる独自の強みをもつビジネスモデル



1. シーズ: 開発候補化合物、Late Stage: 臨床開発後期品、In-Market品: すでに上市された製品

成長戦略

Santenのビジネスモデルを全地域でより強化し、
市場をリードする企業としての信望を集め、持続的な成長基盤の確立を目指す



各地域市場での
高いプレゼンス構築



新たな疾患領域での
市場創造



中長期的成長を支える
Rx¹ポートフォリオ拡充

1. Rx：医療用医薬品



安定供給/生産性向上の
継続強化

2029年度 連結数値目標

事業戦略
観点

売上収益 **4,000**億円

コア営業利益 **800**億円

財務戦略
観点

ROE **14%**以上

EPS成長率 **2桁成長¹**
(EPS：160円以上)

株主価値
観点

株主還元

- ・38円/年を配当下限とし、配当性向40%を目安に増配
- ・株価と余資の状況を勘案し、機動的に自社株買いを実施²
- ・ROE、EPSの更なる上昇を企図

1. 2024年度実績-2029年度目標年平均成長率 2. 必要運転資金を450億円と定義し、一定期間留保された余資金を原資に実施

最重要マテリアリティ

社会と事業の
持続的成長

目の健康に貢献する
製品とサービスの創出

製品の品質保証と
安定供給

製品の浸透と
市場創造

事業基盤の
強化

Santenで働く価値向上と人・組織の能力強化

Happiness with Visionの実現

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

単元株式数 100株

公告方法

電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告による公告をすることができない場合
は、日本経済新聞に掲載いたします。

公告掲載URL : <https://www.santen.com/ja/pn>

証券コード 4536

上場証券取引所 東京証券取引所

株主名簿管理人

および特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

TEL : 0120-094-777 (通話料無料)

会社概要 (2025年3月31日現在)

社名 参天製薬株式会社

本社 〒530-8552 大阪市北区大深町4番20号

創業 1890年

設立 1925年

資本金 8,806百万円

工場 能登、滋賀、他

研究所 奈良研究開発センター、他

従業員数 3,849名 (連結)

株式に関するお手続きについて

1. 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、買取・増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

お問い合わせ先

参天製薬株式会社 IR室

〒530-8552 大阪市北区大深町4番20号

お問い合わせフォーム : <https://www.santen.com/ja/contact/form1>

URL : <https://www.santen.com/ja>

参天製薬株式会社



FSC®認証紙と植物油
インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。